

生活科・町探検「りん川ともだちたんけんごー」を終えて

2年生は、前期に広尾・恵比寿のまちを皆で歩きました。「このお店、新しくオープンしたよ。」「このお店、美味しいよ。」「このマンションが私のお家だよ。」と自分自身のお家やおすすめのお店を友達に教えていました。お店や働いている人のことを「もっと知りたい。」「調べたい。」という気持ちになったことから、広尾商店街にあるお店を選び、インタビューする計画を立てました。子供たちは「臨川友だち探検隊」に大変身し、記録係やインタビュー係、メモ係に分かれ、魚屋さん、花屋さん、文房具屋さん、ピザ屋さん、ペットショップ、お茶屋さんなど合計13店舗に探検に出かけました。「倉庫にもたくさんの品物があって、タブレットで写真を撮ったよ。」「一番高い万年筆は10万円だったよ。」「教えてくれた店員さん、とても優しく親切だったよ。」と目を輝かせて報告に来てくれました。振り返りから「先生、分かったことをまとめて皆に教えたいな。」「お家の人にお店や店員さんのヒミツを発表したいな。」などの感想がたくさん出ました。「お店新聞」を模造紙にまとめ、土曜日授業で発表会をすることになりました。それだけではなく、10月20日(日)の広尾フェアで出店し、地域の方々やお客さんに感想やおすすめのお店を聞くアンケートをとることにしました。

模造紙にまとめる活動が初めてだったこともあり、始めは「どの色を使おうかな。どのくらいの字の大きさにしようかな。」と迷う様子がありました。でも、友だちと相談しながら進めることで「クイズを作って、楽しく読んでもらえるようにしよう。」「写真の説明を画用紙にまとめて、貼ろうよ。」等と徐々にまとめ方の工夫を考えられるようになってきました。

発表会では、他の班の発表に興味津々な様子がたくさん見られました。「先生、あの班の発表、すごかったよ。」と驚く子もいました。また、発表する番になると、友だちや保護者の方々に自信たっぷりに話をする姿が見られ、この学習を通して大きな成長を感じました。

広尾フェアでは、チラシ係、案内係、プレゼント係、アンケート係に分かれ活動しました。「こんにちは。私たちは、臨川友だち探検隊です。町探検に行き、お店のヒミツを調べました。プレゼントもあります。ぜひ、見ていってください。」と元気な声が商店街に響いていました。頂いたアンケートには、「よく調べられていてすごい。」「お店に行きたくなりました。」「はきはきと説明してくれて素晴らしい。」「等書かれており、見てくれた方々に子供たちの頑張りが伝わったようです。

今回の町探検の学習を通して、子供たちは地域の方々と直接関わる中で、自分たちが住んでいる町のよさや地域の人々の優しさを感じ、地域への愛着を深めたことと思います。この学習を進めるために保護者の皆様には、町探検の付き添いや土曜日授業、広尾フェアへのご参加をいただき、誠にありがとうございました。また、地域の皆様には、インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。

(文責：市川 勝利)

インフルエンザの季節がやってきました

冬季は空気が乾燥し気温が低下するためインフルエンザが流行しやすくなります。今年は例年より早く渋谷区内の学校でも罹患する児童がはじめています。病院で処方された薬のおかげで、早期に回復するケースも多いようですが、時に重症化することがあります。集団生活を送る学校で流行を防ぐためには、原因となるウィルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要となります。

① 健康観察強化

インフルエンザ様症状（急な発熱等）はもちろん体調不良などがある場合は無理して登校せず、早めに医療機関へ受診をしてください。

② 咳エチケット

咳やくしゃみなどの症状がある場合やクラスでの流行状況によりマスクの着用をお願いすることになります。いつでも使用できるように、学校にマスクを持参させてください（11月～3月まで）。清潔な袋にマスクを5枚程度入れ、ランドセルに保管し使用状況により補充をお願いいたします。

③ 家庭内感染

家庭内は高確率で感染します。同居家族に感染者が出た場合は、1週間程度毎朝の検温とマスク着用をお願いいたします。

④ インフルエンザの出席停止期間

「発症した日を0日としてその後5日間を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」は出席停止となります。病院でインフルエンザと診断されたら、速やかに学校へご連絡ください。

(文責：船越 康子)



11月は「和食給食月間」

11月24日は、和食がユネスコ無形文化遺産に登録された記念として「和食の日」となっています。(日付は「いい(11)に(2)ほんしょ(4)く」(いい日本食)と読む語呂合わせから)渋谷区ではこの11月を和食月間とし、11月中に8回(週2回)、和食の素晴らしさを学べる給食を提供します。献立は一般社団法人和食給食応援団にご協力いただき、著名料理人による和食給食のレシピを使用しています。

小学生という心身が著しく成長していく時期に、栄養バランスに優れ、また、「旬」を感じ取れる「和食」を給食において充実させることで、「日本人の伝統的な食文化」を学び、将来にわたり健全な食生活を実践できるような食への関わりの機会となればと思っています。

和食文化の特徴は、①地域に根ざした多様な食材を用いて素材の味わいを生かす調理技術・調理道具が発達していることや、②一汁三菜を基本とする理想的な栄養バランスであること、③自然の美しさや四季を食事の場で表現すること、そして、④年中行事と密接に関わっていることなどです。「和食：日本人の伝統的な食文化」は、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。和食文化を知り、日々の食生活に取り入れて受け継いでいきましょう。



(文責：英 晴香)